

市民と議会を結ぶ架け橋

上野原市 議会だより


No.52
平成30年
2月発行

12月定例会



特集

うえのはらで頑張る人
上野原ラージボールクラブ

特集	2
新年のあいさつ	4
定例会で決まった主なこと	4
委員会活動	6
一般質問	9
議決結果等一覧表	14
市民の声	16



特集

うえのはらで頑張る人 vol.5 上野原ラージボールクラブ



月5回の練習を通して健康づくり・仲間づくりをしながら、楽しい中にも真剣な眼差しで練習をされている「上野原ラージボールクラブ」の皆さんにお話を伺いました。

趣味やスポーツを楽しむことは
健康・長寿の秘訣です！

いつ頃から活動されているのですか。

■平成になった頃からですかね。当時は町民会館で活動していました。

始められたきっかけは。

■募集があつたので、上野原になじめるかとの思い、平成12年に入会しました。

クラブの会員数は何人くらいですか。



■70人います。現在加入希望が12人程待ってもらっている状況です。活動が楽しくて居心地が良く、辞める人がいないんです。(笑)うち男性は13人程度です。

大会にも参加されているそうですが。

■スポレクやねりんピック、ラージボール卓球大会、県主催の春夏秋冬リーグ戦、県内外の地域主催の大会もあります。年間では25〜30くらいの大会があり、個人戦や団体戦もあります。

活動場所などは。

■場所はもみじホールです。予約状況で変わるのですが、曜日は決まっています。月5回は行うようにしています。午後の部(午後1時から5時)に活動し、会員の都合のよい時間に来て、都合で帰れるので、皆さん安心して来ています。



クラブに入られて良かったことは。

■仲間が出来たことです。コミュニケーションをとって色々な情報を得られています。生き甲斐を感じています。

■普段は静かでおとなしいのですが、活動の時は変わります。(笑)健康を維持するためにもみんなと楽しくやっています。

■ラージボールをやっている人は非常に健



康で長生き。60歳くらいの時に血液年齢が30代という結果が出ました。良いことは尽きません。



■ストレスを感じないでボールを打つ感覚がいいですね。
■頭痛がする時も卓球すると治っちゃうのよ。腰痛にもいいみたい。
■他のサークルではおしゃべり禁止というところもあるけれど、ここはおしゃべり自由。仲間とおしゃべりできる大事な場所です。
■継続は力という言葉を実感。健康的に減量ができ、熟睡が出来る様になりました。

上野原に住んで良かったと思うことは。

■河岸段丘で山あり、川あり自然環境が素晴らしい。生きていくための健康づくりの場所には最適です。



■平成7年に都内からコモアに引っ越してきましたが、ビルの多い都内と違いホッとします。当時は友達もなく、知らない人ばかりで都内に帰りがたかったです。ラージボールで友達が出来て「ふるさと」になりました。趣味のお友達って最高です。

市や議会に望むことは。

■市には観覧席等もあるような屋内運動施設がないので、上野原主催の大会が出来ず必要性を実感しています。検討して下さい。



■女性はお茶のみなどの機会があるけど、男性はあまりないので、男性が歳をとってもいきいきと活躍できる場所があれば、上野原はもっと元気になると思いますよ。
■高齢者が多く中心市街地まで出るのも大変です。100円くらいで利用できる巡回バスがあれば。

取材の感想

とにかく皆さんがはつらつと輝いていました。健康で長寿の実践と秘訣を感じることが出来ました。活動時間中にもかかわらず、富山代表を始め、取材に快く応じていただき、ありがたうございました。いただいたご意見やご要望を実感してもらええる様、市議会として、実現に向けて努力していきます。



※スポレク
(スポーツレクリエーション卓球大会)

新年のあいさつ

若者たちよ

前進ある上野原を築こう



市議会議員 尾形幸召

輝かしい新春を迎え、誠に
おめでとうございます。

昨年、国内では九州北部豪雨
による中山間地に甚大な被害が
発生しました。当市では山林面
積が約80%を占めており、この
中山間地に居住し生活を営んで
いる市民も多数おります。今年
こそ激甚災害の発生が起こりま
せぬよう願うばかりです。

議会では、議会活性化検討特
別委員会を設置し、議会への市
民参画や魅力づくりのあり方、
定数・報酬等の検討課題も審議
を行っており、今年中には結論
が得られると考えます。

市民の皆様には、老若男女を
問うことなく、是非とも議会へ
のご意見やご提案などをしてい
ただきたいと存じます。

また、昨年は託児サービスの
導入により幼児をお連れのお母
さん方や、授業の一環として多
くの高校生が議会を傍聴されま
した。今年はさらに小中学生に
も傍聴の機会を広げていきたい
と思っております。

市民が生活しやすい上野原を
目指すことは、長年の歳月を必
要としますが、目標を持って望
めば必ず達成できます。市の未
来を担う若者の議会傍聴の定着
化こそ、今後における市政参画
意識の向上策につながると考え
ております。

今年も市議会は市民生活の向
上を目指し誠心誠意努力して参
りますので、何卒ご支援下さい
ますよう心からお願ひ申し上げます。
新年のあいさつと致します。

12月 定例会



定例会で決まった主なこと

平成29年第4回定例会は、11月30日(木)から
12月14日(木)までの15日間の会期で開催され
ました。

審議された議案

市長提出議案	27件
請願	1件
計	28件

議案名・議決結果等は、14ページをご覧ください。

議案第127号 上野原駅南口駅前広場条例制定について

条例制定

上野原駅南口駅前広場には
駐車場・バス乗り場・タクシー
乗り場等が設置されます



上野原駅南口駅前広場の設置に伴い、施設の種
類・使用条件や使用料・
禁止行為等を定めていま
す。一般自動車待機場（駐
車場）として一般車13台分
が用意されています。始め
の30分は無料です。以降30
分毎に200円。

議案第133号 平成29年度上野原市一般会計補正予算(第7号)

補正予算

上野原駅南口駅前広場に時
計台、南口新設通路にステ
ンドグラスが設置



上野原駅南口駅前広場
に島田財産区寄贈による
時計台(設置費600万円
の財源は財産区特別会計
繰入金)が、同駅南口通路
にステンドグラス(設置
費350万円の財源はふ
るさとまちづくり基金)が
設置されます。

議案第133号 平成29年度上野原市一般会計補正予算(第7号)

補正予算

上野原駅南口エレベーター
棟横に地域活性化施設が設
置されます



地域活性化施設1階は
バス案内所と観光案内所、
2階は観光案内所事務室
とトイレが設置されます。
そのための備品購入費と
して301万3000円
計上されました。今後ど
のように活用されるのか
注目されるところです。

議案第128号 上野原市景観条例制定について

条例制定

上野原市景観条例を制定
(平成30年4月1日施行)



市の自然、風土及び歴史
の中で育まれた個性的な
景観の持つ魅力や価値を、
市民と共に整備・保全・
育成を図るため制定され
ました。市内の地域特性に
応じた市街地・里山集落・
森林地域の良好な景観形
成を推進します。

議案第137号 平成29年度上野原市簡易水道事業特別会計補正予算(第4号)

補正予算

荻野用水路応急復旧対策経
費として水道料3003万
8000円を補正



10月の台風21号によ
り、荻野農業用水路が崩
落し仲間川簡易水道の導
水路も被災したため、導
水路のバイパス工事完了
までの間は、東部地域広
域水道企業団の施設から
緊急的に給水を受ける経
費です。

請願第3号 テニスコート改修に関する請願書

請願

「テニスコート改修に関す
る請願」全会一致で採択へ



市宮桂川テニスコート
は、冬期や雨が降ると使
用中止となり、40年以上
経過した今も改善がされ
ていないため、年間通し
て使用できるように、現
在のクレーコートからオ
ムコートへ改修を求め
たものです。

※クレーコート(表面を粘土や赤土などで作るテニスコート)
オムコート(砂入り人工芝)

総務産業常任委員会

新潟県見附市

視察

市街地の活性化でまちに賑わいを

委員	長	田中	英明
副委員	長	鷹取	偉一
委	員	白鳥	純雄
		川島	秀夫
		杉本	公文
		杉本	友栄
		岡部	幸喜
		尾形	重寅

10月5日、地域活性化について、先進的に取り組まれている新潟県見附市の視察調査を行いました。



見附市地域経済課及び農林創生課の担当者から、地域活性化の取り組み状況等について、丁寧な説明をいただきました。

見附市は、南北に長い新潟県の中央に位置し、面積は77・91平方キロメートルで、8月末現在の人口は4万919人でした。15年度に市民アンケートの結果を受け、長岡地域の市町村合併には参加せずに自律の道を行くことを選択していました。

そして、国が募集を行った「地域活性化モデルケース」に、「超高齢化・人口減少社会を克服するスマートウエルネス都市」を提案し認定を受け、地域が直面する超高齢化・人口減少を克服するためのモデルとなる事業を進めました。

モデルケースの1つに、中心市街地の活性化がありました。

市内には、「見附地区」と「今町地区」の2つの市街地に商店街が存在し、両エリアでは27年度から空き店舗活用への支援制度を設け、商店街がシャッター通りになってしまいう問題を解消するために、まちなかに新たに新店する場合は上限300万円の補助金を交付し、まちの賑わい回復のために取り組んでいるとのことでした。

また、28年12月からは、両エリアにエリアマネージャーをおき、空き店舗活用など公民連携でまちなかの活性化に取り組んでいました。

他に、見附地区では昨年度建設事業費約12億5700万円を

コミュニティ銭湯「ほつとぴあ」を建設し運用開始。また、25年には道の駅「パティオにいがた」が9億9900万円を整備され、いずれも指定管理者制度を導入し、運営されていきました。

また、小学校区単位で地域コミュニティ組織を立ちあげ、中心市街地だけでなく、農村も大事にして、持続するまちなしようにと努力していました。

当市においても、見附市の取り組みが適用可能なものについては、今後の参考にできるように、当局へ要望しました。

総合福祉センターの運営状況を調査

視察

長野県池田町「やすらぎの郷」
新潟県上越市「福祉交流プラザ」

10月30日及び31日、福祉保健事業の先進地である長野県池田町の総合福祉センター「やすらぎの郷」と、新潟県上越市の「福祉交流プラザ」を訪問し、視察調査を行いました。

池田町 やすらぎの郷

12年の介護保険制度スタートに合わせ、保健福祉の拠点として大規模な複合施設を建設しました。



やすらぎの郷

池田町は、全国同規模団体で特定健診率は2位ですが、医療費が高く、抑えることが保健師の取り組みの一つとされています。このため「はつらつ健康保険事業」に取り組み、保健師が早めの病気チェックに努めた結果、その成果が出ているとのこと。具体的には、健診を受けポイントを得た方に、町内の協力店で使える商品券を発行しています。400人が規定ポイントを取得していますが、40歳代の若い人ほど健診率が低く課題であるとのことでした。施設内の機関は、健康福祉課、保健センター、地域包括支援センター、社会福祉協議会等で複合的な課題について連絡調整・情報共有が図られていました。

上越市 福祉交流プラザ

21年4月から開所し、障害者の方をはじめ、子どもたちの福祉増進に必要な支援、多くの人が交流する場などの機能を備えています。1階には基幹相談支援センターがあり、障害者の方や家族などへの相談・支援を行っているようです。他に、保育室や障害者がパンやクッキーを製造し、就労に向けた訓練を行う施設があります。2階には放課後児童クラブと障害のあるお子さんを預かる放課後デイサービス事業所があり、隣接させたことは、お互い認め合うなど良かったと話していました。他に、社会福祉協議会、障害福祉団体連合会などの事務所が配置され



福祉交流プラザ

28年度は12万4000人が利用し、当初見込みの7万人を大きく上回っていました。

今後、少子高齢化がますます進み、総合的な福祉の充実は大きな課題となります。来年4月開設の（仮称）上野原市総合福祉センターが、市の関係者や福祉団体との連携を図りながら、地域に根差した福祉の拠点となるよう、当局に要望しました。

委員長	長田喜巳夫
副委員長	小俣 修
委員	遠藤美智子
〃	川田 好博
〃	久嶋 成美
〃	東山 洋昭
〃	山口 好昭
〃	尾形 幸召

総務産業常任委員会

委員長 明雄 文栄 喜寅
 副委員長 英長 一雄 秀公 友幸 重
 委員 中員 取鳥 純島 本友 部重
 委員 田鷹 白川 杉本 杉岡 尾

12月6日、委員会を開催し、付託された13議案（うち1件は議案撤回となり12議案）の審査と市道路線の現地確認を行いました。

主な質疑・答弁等を要約してお伝えします。

上野原市景観条例制定について

Q 条例施行前に、すでに景観を壊しているような物件の対応は。

A 区域が指定された際、すでに着手されているものは届出非対象行為となりますが、違反建築等には上位法令の景観法で罰則が定められているので、それに準じて管理を行っていきます。



路線変更となる巖こども園前市道を確認

平成29年度上野原市一般会計補正予算(第7号)

Q 大鶴楽生園の解体費用の算出根拠は。

A 全体の解体費用は約4690万円。構成市村(6市村)で均等割10%、人口割80%、応能割10%の割合で算出した結果、上野原市が約1270万円、都留市が約1580万円、大月市が約1400万円ほどの負担金となりました。

Q 四方津駅バリアフリー化の駅構内整備の補正について、32年のバリアフリーの期限までに整備が追いつくのか。

A 国交省甲府河川国道事務所と打ち合わせを行っており、今後の事業の進め方や時期が具体化してくれば地元説明を行い、説明会を通して事業実現に取り組んでいきたいと考えております。

【結果】12議案全て全会一致で原案どおり可決すべきものと決定。

文教厚生常任委員会

委員長 夫智 昭昭
 副委員長 喜修 美智 美昭 昭
 委員 田員 侯美 好成 洋好 昭
 委員 長委 小員 藤川 久東 山口 尾

12月6日、委員会を開催し、付託された6議案及び請願1件の審査と現地調査を行いました。

主な質疑・答弁等を要約してお伝えします。

平成29年度上野原市簡易水道事業特別会計補正予算(第4号)

Q 台風被害による企業団からの臨時給水について、1立方メートル単価392円というのはあまりにも事情が考慮されていない。災害による臨時給水は減免の規定があると思うが、企業団へ減免規定を設けて欲しいと申し入れるつもりはないか。

A 企業団にも相談しましたが、過去に大月市内で同じことがあり同様の処理がされていきました。その頃に比べ、現在水道料は倍近く値上げしているので、今後災害時を想定し、企業団に協議をしていくつもりです。

意見 当市の企業団会議議員5名も働きかけを行っている。災害等があった場合は、減免規定等が該当する条例改正等を行うよう、引き続き努力したい。

Q 上野原市営自転車等駐車場条例の一部を改正する条例制定について年間何台くらいの放置自転車を撤去しているか。

A 29年度はバイク9台、自転車22台を撤去しました。うち5台は所有者等が取りに来ました。残り6ヶ月間公示し、連絡がない場合は処分する予定です。

【結果】6議案全て全会一致で原案どおり可決すべきものと決定。請願は採択すべきものと決定。



仲間川浄水場の現地調査

衆議院選挙における選挙違反事件について



杉本公文

質問

選挙期間中、差出人が市長名の違反文書が、郵便局により市内に多数配達された。

この文書は公職選挙法の第142条（文書と図画の領布）と、さらに職員宅に配達されているので同法第136条の2（公務員の地位利用による選挙運動の禁止）に違反する。市長この文書は、どういう事なのか伺います。

答弁

私は一切関与しておりませんので、この事について、これ以上お答えするつもりはございません。

質問

市長については以前、自身の選挙期間中、市の請負業者から違法献金を受けた事もあり、関与していないとわかに信じられない部分もあるが、この件について警察や司法から、何らかの警告や質問を受けた事はあるのか伺います。

答弁

職員の1人が持つて来て、



こういうものを出したかと言うので、一切身に覚えがないので翌日、上野原警察署に行つて、これは私が書いたものでも配つたものでもない、届け出ています。

偽文書作成行使にあたるが、あえてそれに対して、市民の皆様を信じて告発する事はしませんでした。

質問

殆ど全戸に配る様な卑劣な違反事件、捜査をすれば真相はつかめる。市の名誉のためにも告訴すべきでは。

答弁

今後とも告訴するつもりはありません。

他に、農業振興策、情報通信事業について質問しました。

生活環境の整備について



長田喜巳夫

質問

景観整備事業については、本年4月1日施行のまちづくり基本条例第1条の目的の精神に基づき、一般財源の活用により道路沿いのスギ、ヒノキなどを伐採し、事業を進めるべきだが、

住民主体により景観形成に活発に取り組んでいる地域の皆様と市との協議により、計画された地域の方針が実現できるよう検討していきます。また、森林環境税が活用できるよう県に強く働きかけていきます。

意見

この事業は具体的には、まちづくり基本条例第4条の参画、協働の原則と10条に基づき進めていく姿勢を示すことが必要です。毎年継続して実施すれば一定の景観が確保され、新たな価値が生まれ、協働のまちづくりは前進していきます。

質問

日常生活の基本は、身近な道路などの環境整備です。



答弁

25年から28年までの要望状況は、全地域で104件です。29年度は10月末で25件あり、整備されているのは約半分です。

意見

住みよい住環境の整備に向けては、道路の基盤整備を着実に進めることです。住民要望に基づいた計画的な整備により住民との信頼関係を確保するよう求めます。

他に、市民活動支援事業、市民討論会、地方創生、林業について質問しました。

地域活性化施設について

質問

駅エレベーター棟横に地域活性化施設が作られているが、約32坪、請負金額3240万円、坪単価にすると約101万円になる。一般建築でこれだけ出すとかなり重厚な立派な、素晴らしい家が建つと思うが、この単価をどう考えるか。

答弁

観光協会が入り運営する、設置者と管理者は市で、運営主体は、市観光協会に委託する方向で検討しています。また、バスの案内所については地域活性化施設使用許可申請書を提出したバス会社に許可を出し、使用料を徴収して貸し出すという方向です。

意見

民間の営業所が主体にならないように十分に気を付けていただきたい。他に、市長公約の大型プロジェクト、上野原こども園に関する裁判、公有地の取得について質問しました。

意見

どんな事業でも、市民の税金が使われるので、市民感覚を大事にしてください。あの建物が、坪101万円を通るか、ということとあります。

質問

この地域活性化施設には、



久嶋成美

都市計画実現への取り組みについて
安心安全なまちづくりについて

質問

上野原駅南口は来春供用開始となり、利便性に優れた環境となる一方で、北口から県道までの階段は利用しづらい現状だが、利用者の利便性・安全性への取り組みは。

答弁

現段階においては整備計画はないが、来年上野原駅南口駅前広場の供用開始後、駅を利用する方の利用状況等を総合的に勘案しながら、まずは市道上野原駅前線の整備の必要性等を検討していきたいです。

質問

休日や放課後、子供達の遊ぶ場所がなく、遊びも制限される。今年閉園になった旧第一保育所・第二保育所跡地を、安心安全に活動出来る場所としての検討は。

答弁

学童保育の設置と放課後子ども教室と相互に連携し、子供達が安心安全に遊べる居場所づくりを整えています。旧第一保育所・第二保育所は市の所有地であ



白鳥純雄

質問

桂川河川公園には台風による大量の洪水があったが、市民からの情報提供が出来る体制が整っているのか。

答弁

市民からの苦情の連絡は、承っています。

他に、商店街活性化の具体的な取り組み、空き家への対応について質問しました。

防犯カメラの設置について 市の保健福祉について



遠藤美智子

質問

近年、児童生徒の登下校時に、度々不審者情報を聞くことがある。小・中学校や通学路に防犯カメラの設置が必要と考えるが、市の考えは。

質問

今後、確実に介護サービスを受ける人が増加する。年々、居宅サービスの給付費も増加している。今後、介護従事者の育成が必要と考えるが。

答弁

必要性については、充分認識しています。各学校の実態を踏まえ、設置及び運用に関する要綱に沿って、設置に向けて検討を行ってまいりたいと考えています。

答弁

近隣市町村と合同で、東部地域での開催を要請するなど、東部広域連合への協議や働きかけを考えています。総合福祉センターの開所に伴い、子育て世代包括支援センターの設置を要望する。

要望

市内各地域のあらゆる防犯対策のために、自治会等公的団体が設置する防犯カメラの設置に補助金制度の新設を要望する。

要望

他に、勤労青少年ホームの活用、ヘルプカードの導入について質問しました。

質問

(仮称)市総合福祉センターの開所に伴い、現在、福祉専門士は何人いるのか。

答弁

福祉課に保健師2名、長寿健康課に社会福祉士2名、主任介護支援員2名、保健師7名、管理栄養士1名、看護師1名が配属されています。



西小の学童保育を増設 市内に循環型バス路線を



川田好博

質問

市と県の生活保護率はどのくらいか。

答弁

市は0・47%、県は0・86%です。

質問

善しました。上小、西小の学童保育の定員がいつぱいの状態だが。

答弁

利用頻度の少ない教室の活用などの検討を進めてきましたが、今回、西小で増設のために補正予算も計上し、対応に努めています。

質問

市の勤労者世帯の実収入やエンゲル係数は、国や甲府市と比べると、大きな差がある。それにも関わらず、生活保護率が低いことをどう考えるか。

答弁

消費支出は、ほぼ同額なので、生活水準が低いとは必ずしも言えないのではないのでしょうか。

質問

上野原駅南口にバス停が移り、シビックゾーン内の市役所、市立病院や総合福祉センターに行くために循環型バス路線が必要になるのではないか。

意見

実収入の額、可処分所得などを見ても、生活水準が低いことも明らかだ。このことを認識して貧困対策を進めてもらいたい。

答弁

シビックゾーン内を徒歩で移動が困難な市民がいるので、循環型バス路線も選択肢の一つとして、バス事業者と協議しています。

質問

就学援助はどのように改善したか。

答弁

入学時の児童生徒の学用品費の援助は、入学前に行うようにしました。準要保護の基準は、生活保護基準の1・1倍から1・3倍に改



人々が集う魅力あるまちづくりについて



山口好昭

質問 景観条例化の意義と、美しいまちづくりについて伺う。

答弁 26年から策定作業に着手し、

昨年4月に施行を予定しております。景観計画の策定に伴い、景観条例を制定するものであります。条例では、景観計画区域の範囲や景観形成重点地区、届出対象行為のほか、景観法で規定する景観重要建造物や景観重要樹木の指定など、様々な事項を決めており、景観条例は景観計画の実効性を高めて活用するために必要なものとなります。景観条例により実効性が高まった景観計画を施行することにより、景観形成が成り立ち、美しい景観を創出できるものを美しいまちづくりとするものです。

質問 景観形成推進ゾーンは、

景観計画では、景観形成を効果的に進めるため、特に先導的かつ重点的に景観形

成を推進すべき一定のゾーンを景観形成ゾーンとして位置づけ、8か所を選定しております。1つ目は上野原地区の中心市街地ゾーン、2つ目は上野原駅周辺・桂川周辺ゾーン、3つ目は甲州街道ゾーン、4つ目は談合坂S・C周辺ゾーン、5つ目は大野貯水池周辺ゾーン、6つ目は秋山地区・棚田里山周辺ゾーン、7つ目は桐原地区・長寿の里周辺ゾーン、8つ目は西原地区・農山村交流ゾーンとし、それぞれのゾーンごとに計画に示された景観形成方針により景観形成を推進することとしております。



蛭棲息地の保護について



小俣 修

質問 鶴島地区内にて、鶴島土地改良区による沢入川の埋め立てが行われています。この事業の堤防の下に湧き水があり、ここを中心に大量の蛭が発生します。この蛭は市の観光資源として保存すべきと考えます。しかし、山梨県と鶴島土地改良区の間で堤防の下流域について、川底と両側面をコンクリートで固める取り決めになっています。固めてしまえば蛭は絶滅します。底地は市所有であり、市より山梨県に対し取り決めの撤回を働きかけ、蛭の里を保存すべきと考えますが見解は。

答弁 議員ご指摘のとおり底地は市所有ですが、山梨県から許可を受けて鶴島土地改良区が事業を実施しており、

砂防指定地域内行為の許可等を受けて事業を行っているため、この事業許可の変更協議等手続を行わなければ

要望

大勢の人が見られるよう、保護に向け頑張ってください。よう要望いたします。



長期総合計画について



東山洋昭

質問

19年度より28年度まで市の将来像や市民生活向上のために、地域づくりの方針を示した第1次長期総合計画が策定されていたが、第2次計画は作成されていない。ある企業の調査によると一般市では97・2%が長期総合計画を作成している。当市が作成しない理由は。

答弁

31年に終了する5年計画の次期総合戦略の改定時期に合わせて策定する予定です。それまでは長期総合計画は作りません。

質問

では29年3月で終了した第1次長期総合計画の10年間の実施検証は行ったのか。

答弁

実施検証は行っていません。新規の総合計画の策定とあわせて検討したいと考えています。

意見

当市はPDCAサイクルの検証が非常に欠けていると思います。どこが良く、どこが悪かったかを検証を行

った上で、長期的な市全体を考えた施策の立案も現実的となります。しっかりと足元を見据え、基本的将来展望の構想を作成すること、長期総合計画がしっかりと作成できて、それによって各部署の各計画が血の通うものとして実行できると考えます。長期総合計画の早期作成が必要です。他に、上野原駅南口の地域活性化施設、市の「たから」について質問しました。



◆市内学生の一般質問傍聴◆

12月11日の本会議（一般質問）に、上野原高校3年生の生徒16名と帝京科学大学の3年生2名が傍聴に訪れました。市議会では、議会を身近に感じてもらうよう、学生の議会傍聴を積極的に受け入れています。



上野原高校3年生の皆さん



帝京科学大学3年
鈴木愛莉さん
堀江沙綾さん

新田字狐原の雨水の問題や蛍の保護等市の問題を改めて知り、また上野原駅南口は帝京科学大学の学生にとって深く関心があるため、傍聴して良かったです。私たちにとって第2の故郷である上野原の現状を知るためには、議会傍聴はとても良い機会であり、これからも積極的に参加していききたいと思います。



上野原高校3年
黒部匡哉さん

地域をより一層活性化させるため、市のために全力で問題に取り組み議員の方々が印象的でした。地域問題に何を取り組むべきか、市のために議会を通じて解決策を見出すことが市の発展に繋がり、人々の暮らしを支え豊かにするということを、改めて学習しました。

平成29年第4回定例会議決結果等一覧表

◆全会一致の議案

番号	付託	案件名	結果	番号	付託	案件名	結果
123	—	専決処分の承認を求めることについて (一般会計補正予算(第5号))	承認	138	—	平成29年度島田財産区特別会計補正 予算(第2号)	原案 可決
124	—	専決処分の承認を求めることについて (一般会計補正予算(第6号))		139	—	平成29年度秋山財産区特別会計補正 予算(第2号)	
125	—	専決処分の承認を求めることについて (簡易水道事業特別会計補正予算(第 3号))		140	総務 産業	市道路線の認定について	
127	—	上野原駅南口駅前広場条例制定について	141	市道路線の変更について			
128	総務 産業	景観条例制定について	142	—	(仮称)市総合福祉センター備品購入 契約締結について		
129	—	行政財産使用料条例及び学校施設及 び公民館使用に関する使用料条例の 一部を改正する条例制定について	143	—	防災行政無線(同報系)デジタル化整 備工事請負変更契約締結について		
130	文教 厚生	市営自転車等駐車場条例の一部を改正 する条例制定について	144	—	山梨県東部広域連合規約の変更について		
131		包括的支援事業の実施に関する基準を 定める条例の一部を改正する条例制定 について	145	—	職員給与条例の一部を改正する条例制 定について		
132	総務 産業	市営住宅条例の一部を改正する条例制 定について	146	—	平成29年度一般会計補正予算(第8 号)		
133	総務 産業 文教 厚生	平成29年度一般会計補正予算(第7号)	147	—	平成29年度国民健康保険特別会計補 正予算(第4号)		
134	文教 厚生	平成29年度国民健康保険特別会計補 正予算(第3号)	148	—	平成29年度介護保険特別会計補正予 算(第4号)		
135		平成29年度介護保険特別会計補正予算 (第3号)	149	—	平成29年度簡易水道事業特別会計補 正予算(第5号)		
136	総務 産業	平成29年度公共下水道事業特別会計 補正予算(第2号)	請願 3号	文教 厚生	テニスコート改修に関する請願書	採択	
137	文教 厚生	平成29年度簡易水道事業特別会計補 正予算(第4号)	※議案第145号から第149号は最終日に上程され、委員会付託 が省略されました。				

◆撤回された議案

番号	付託	案件名	結果	経過
126	—	地域活性化施設条例制定について	撤回	市長から議案撤回の申し出がされ、本会議で議案 撤回の件を議題として承認の議決を行い、全会一 意で承認された。

※正式な議案名から(上野原市)を省略しているものもあります。

議会活性化検討特別委員会

先進地を視察 日の出町議会・立川市議会



11月14日、議会活性化検討特別委員会では、議会活性化を先進的に進めている「日の出町議会」及び「立川市議会」に伺い、視察調査を行いました。

「日の出町議会」においては、議会の組織・構成、議会の運営、開かれた議会と住民参加等について議会事務局より説明を受けました。



「立川市議会」においては、タブレット端末導入によるペーパーレスへの取り組み、議会報告会・意見交換会への取り組み、議会中継(テレビ・インターネット等)について、議会事務局より説明を受けました。

これらの視察を参考にし、今後議会活性化に取り組んでいきたいと思っております。

議会活性化特別委員会

委員長 鷹取 偉一 副委員長 杉本 友栄

委員 白鳥 純雄 遠藤 美智子 川田 好博 久嶋 成美 東山 洋昭 小俣 修 川島 秀夫
杉本 公文 田中 英明 山口 好昭 長田 喜巳夫 尾形 幸召 岡部 幸喜 尾形 重寅

行政 視察

岐阜県中津川市議会議員来庁

公共交通の現状について視察



11月30日、岐阜県中津川市議会(中津川自民クラブ・市議会公明党)の議員12名が来庁し、「上野原市の公共交通の現状と今後」について視察・調査されました。

生活環境課担当職員より、民間路線バス(富士急山梨バス)・民間タクシー・デマンドタクシーの利用状況等現在の状況や今後の課題について説明を受けた後、活発な質疑が行われました。

市民の声

防災とPTA活動

本年度、北都留小中学校 PTA 連合会（北都 P）会長として各種団体の活動に参加する機会を頂き、多くの皆様が子供たちの安心安全のためご努力されている事を実感しており、保護者代表として感謝申し上げます。

私の所属する上野原西中学校 PTA では、活動の一環として災害をテーマとし、昨年度は進邦前会長のもと保護者を対象とした HUG（避難所体験ゲーム）講習会を、本年度は生徒・保護者を対象とした体育館を避難所体験する防災キャンプを行いました。どちらも講師として「災害・防災ボランティア未来会」代表の山下博史さんに来校頂いて、貴重な実際の災害現場や避難所の様子を動画や写真で見ながら進めました。生徒が参加した防災キャンプでは、参加者全員協力してとん汁やアルファ米を調理し、簡易トイレ、ランプや汚水を水に変える浄水器の作り方を体験しました。そして災害時には、心のつながり助け合い協力しあうことが大切だという事を学びました。もし災害が起きた時、今回の参加者には学んだ知識を周りの人たちに広めて欲しいと願っています。

この防災キャンプを企画している時に、避難所となる体育館を管理している学校の先生方も開設について詳しくご存じないようでした。

もしもの時に困らないよう、市全体でもこのような活動をして頂けたらと一市民として希望します。



北都留小中学校PTA連合会
会長 清水一恵さん

3 月定例会予定

日	月	火	水	木	金	土
3/4	5	6	7	8	9	10
	本会議 (初日)	議案調査	総務産業 常任委員会	議案調査	文教厚生 常任委員会	
11	12	13	14	15	16	17
	議案調査	議案調査	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	予算特別 委員会	
18	19	20	21	22	23	24
	予算特別 委員会	予算特別 委員会 (総括)	春分の日	議案調査	議案調査	
25	26	27	28	29	30	31
	本会議 (最終日)					

一般質問傍聴 託児サービスを ご利用ください



市議会では、一般質問を傍聴する際、満1歳以上から就学前までのお子さんを無料でお預かりする託児サービスを実施しております。

ご希望の場合は、傍聴希望日の一週間前までに、議会事務局（62 - 3344）へお申し込みください。

※通常の傍聴には予約の必要はありません。傍聴当日、3階議会事務局受付までお越しください。

編集後記

最近読んだ本「最後の一年」中山伸弥著（京大教授）は、ラグビー元日本代表監督平尾誠二氏との親交が深かった物語。平尾の言葉「プレーは叱っても、人格は責めない。後で必ずフォローする。他人と比較しない。長時間叱らない。」を常に胸に刻み込んでいる。これは人を動かすリーダーシップの神髄だ。大人の男たちの友情が詰め込まれています。機会があったら是非一読を！

さて、今年は上野原駅南口、総合福祉センター完成。SIC工事も着々と進行しています。四方津駅バリアフリー化工事もやっと具体的に動き出しそうです。住みよい上野原へ着々と・・・（川島）

議会だより編集常任委員会
委員長 東山 洋昭
副委員長 川田 好博
委員 白鳥 純雄
委員 遠藤美智子
委員 久嶋 成美
委員 川島 秀夫

